

後期基本計画策定に向けて

まちづくりの基本方針4

歴史に学び、未来を拓く伊豆の国市(歴史・文化・教育・研究)

歴史に学び、未来を拓(ひら)くまちを目指すとともに、都市交流の推進により、文化・芸術活動が身近にある豊かな暮らしを目指します。

次代を担う子どもに対し、これからの時代を生き抜くために必要な能力を身に付けるための教育環境づくりを目指します。

●施策の大綱 4-1 歴史・文化・芸術を生かした

■成果指標に対する進捗管理

○指標(成果指標) / 文化振興事業における座席数に対しての平均評価 / 順調に推移している

■後期基本計画の方向性の提案等

主要施策	後期基本計画の方向性の提案等
26 歴史に学ぶまちづくりや都市交流の推進	<p>※郷土資料館の利用者数が減少していることから、出前授業、貸出等で複合的に対応することとしてはどうか。</p> <p>※郷土資料館は『歴史を活かすまちづくり』、都市交流は『多文化共生』としてはどうか。</p> <p>※コロナ禍においてはオンライン交流に変更するなどし、都市・国際交流を継続することとしてはどうか。</p> <p>※大河ドラマのレガシー活用について位置づけてはどうか。</p>
27 文化・芸術活動の推進	<p>※伊豆の国市劇団による発信力の向上と市内在住者への集客強化を図ることを追記してはどうか。</p> <p>※市民文化祭については、『生涯学習』へ移動してはどうか。</p> <p>※目指すのは「活動の推進」ではなく『文化・芸術の推進』ではないか。</p>

●施策の大綱 4-2 次代を拓(ひら)く教育と研究の推進

■成果指標に対する進捗管理

○指標(成果指標) / 学校を楽しいと思える子どもの割合
評価 / 実績値を把握することができず、未評価

○指標(成果指標) / 保護者目線から見た、楽しく通っている園児の割合
評価 / 順調に推移している

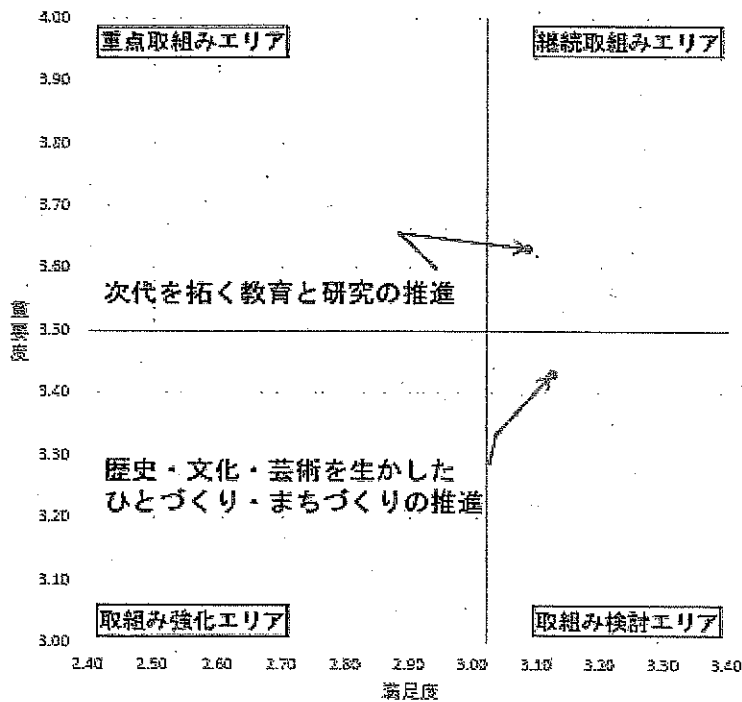
■後期基本計画の方向性の提案等

主要施策	後期基本計画の方向性の提案等
28 安全で安心して学べる教育環境の確保	<p>※部活動指導ボランティアの発掘と活動時間の見直しが課題として記述してはどうか。</p> <p>※小中学校における「同時双方向型オンライン指導」の導入(追記)を検討してはどうか。</p>
29 社会全体で子どもを育てていく環境づくり	<p>※図書館の取組は、『生涯学習』へ移動してはどうか。</p> <p>※コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入(追記)を検討してはどうか。⇒地域学校協働本部を先行して実施している。</p> <p>※青少年健全育成は、『生涯学習』</p> <p>※『地域ぐるみの子育て環境づくり』を設けて、学校支援や子どもの見守りを記述してはどうか⇒地域学校強度本部で実施しているへ移動してはどうか。⇒理念が違う。</p>
30 グローバル教育・情報教育の推進	<p>※施策全体(グローバル教育・情報教育)を『多文化共生』の分野に入れてはどうか。</p>
31 生涯学習の推進	<p>※リカレント教育の視点を追加してはどうか。</p>

32 スポーツ活動の推進	※オリパラ関連種目のレガシー施策について、具体的に述べてはどうか。 ※ニュースポーツ、体育協会について記述してはどうか。
--------------	---

◆ 市民アンケート調査結果

項目	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
平均値	3.02	3.50	2.86	3.48	2.85	3.38
9 歴史・文化・芸術を生かしたひとづくり・まちづくりの推進	3.12	3.43	3.04	3.33	3.03	3.29
10 次代を拓く教育と研究の推進	3.08	3.63	2.88	3.66	2.94	3.60



市民アンケート結果では、全体平均と比較すると「次代を拓く教育と研究の推進」では市民からの「満足度」「重要度」ともに高くなっている。

一方、「歴史文化芸術を生かしたひとづくり・まちづくりの推進」では、市民からの「満足度」は高いものの「重要度」は低くなっている。これは、これまでの取組が充実した結果と考えられるが一部取組が過剰になっていないか等、検討が必要である。

第2次伊豆の国市総合計画 進行管理票

まちづくりの基本方針	4 歴史に学び、未来を拓く伊豆の国市(歴史・文化・教育・研究)			担当部署	
施策の大綱	1 歴史・文化・芸術を生かしたひとづくり・まちづくりの推進(歴史・文化・教育・研究)			文化振興課	
成果指標	文化振興事業における座席数に対するの平均来場者割合の向上				
	基準値(2015年度)		70.0%	目標値(2021年度)	75.0%
	2019年度	2020年度	2021年度	特記事項	
	(期待値) 73.0%	(期待値) 74.0%	(目標値) 75.0%		
実績値	70.5%	81.5%			
達成状況	未達成	達成			
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 延べ文化振興事業数 7回(延べ来場者数 4,267人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・ウイズコロナを見据えた文化振興事業の実施。(感染対策と来場者を増やす施策の両立)。 ●実績 2公演を実施 チケット販売数955枚(来場者数は807人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・ウイズコロナを見据えた文化振興事業の実施。(感染対策と来場者を増やす施策の両立)。 自主事業4公演・共催事業1公演を実施予定 		
評価・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等が魅力を感じる公演事業の計画と実施に努める。併せて、適正な施設維持管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症対策と予算の執行停止により当初8事業を計画したが、ホールの人数制限緩和と後チケット販売を見込める2事業を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ実施の可否を適切に判断する。 			
大綱の総合評価 (主要施策の達成状況)	主要施策の達成割合 3/3	概ね順調に推移している(大綱は未達成だが、主要事業は全て達成しているため)			

主要施策	26 歴史に学ぶまちづくりや都市交流の推進①		担当部署	文化財課
主要施策の 成果指標	市民を対象とした歴史に関するシンポジウムを毎年開催			
	基準値 1回(2015年度)		目標値 1回(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 1回)	(期待値 1回)	(目標値 1回)	—
実績値	1回	1回		—
達成状況	達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・12月14日に韭山城をテーマとしたシンポジウムを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・新型コロナ対策を踏まえ、規模の縮小、オンライン配信等を検討する。 ●実績 ・2月27日に韭山反射炉世界遺産登録5周年記念講演会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンライン配信等による開催も検討する。 	
評価・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も情勢やニーズに合致したテーマ・内容を提供できるよう検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じて実施した。 		

主要施策	26 歴史に学ぶまちづくりや都市交流の推進②		担当部署	学校教育課
主要施策の 成果指標	中学校における伊豆の国市を題材とした地域学習の実施率の向上			
	基準値 33%(2015年度)		目標値 100%(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 66%)	(期待値 100%)	(目標値 100%)	—
実績値	100%	100%		—
達成状況	達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	・韭山反射炉を題材とした地域学習を実施し、反射炉検定を実施した。	○計画 ・韭山反射炉を題材とした地域学習、韭山反射炉検定を計画している。 ●実績 ・総合学習において、地域学習を各中学校で計画的に実施した。	○計画 五條市との交流を実施予定。修学旅行や、地域学習などを含め、さらに深化した学習を目指す。	
評価・ 改善内容	・郷土の歴史や文化に触れ、郷土愛を育み生徒の意欲向上が図られた。	地域に親しみをもち、学習に取り組むことができた。		

主要施策	27 文化・芸術活動の推進		担当部署	文化振興課
主要施策の 成果指標	他自治体等との共催による文化・芸術鑑賞機会の増加			
	基準値 1件(2015年度)		目標値 3件(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 2件)	(期待値 2件)	(目標値 3件)	—
実績値	2件	0件		—
達成状況	達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	①伊豆市グリーンコンサート2019(11/17)。 ②0歳から入れる親子クラシックコンサート(11/9)。	○計画 ①オリンピックライブサイト会場コンサート「海瀬京子野外ライブ」(7/28)。 ②伊豆市グリーンコンサート2020(11/15)。 ●実績 両コンサートとも中止。	○計画 ①伊豆市グリーンコンサート2021(11/27)	
評価・ 改善内容	①販売席数:974席 完売 ②入場券配布席数:509席	・新型コロナウイルス感染症対策として開催を取りやめた。 ・感染症対策をとりつつ開催の可否を判断する。		

第2次伊豆の国市総合計画 進行管理票

まちづくりの基本方針	4 歴史に学び、未来を拓く伊豆の国市(歴史・文化・教育・研究)			担当部署
施策の大綱	2 次代を拓く教育と研究の推進(歴史・文化・教育・研究)			学校教育課・幼児教育課
成果指標①	学校を楽しみと思える子どもの割合			
	基準値(2015年度)		目標値(2021年度) 90.0%	
	2019年度	2020年度	2021年度	特記事項
	(期待値) 86.0%	(期待値) 88.0%	(目標値) 90.0%	
実績値				
達成状況				
取組実績 (取組計画)	全国学力学習状況調査中に調査項目が無くなったため、実績値が不明。	●実績 実績値不明 (学学調査が中止となったため)	○計画 各学校での学校評価に市内共通項目として実施	
評価・改善内容				
成果指標②	保護者目線から見た、楽しく通えている園児の割合			
	基準値(2015年度)		目標値(2021年度) 80.0%	
	2019年度	2020年度	2021年度	特記事項
	(期待値) 76.0%	(期待値) 78.0%	(目標値) 80.0%	
実績値	94.0%	97.4%		
達成状況	達成	達成		
取組実績 (取組計画)	・保護者アンケートの実施。 ・各主要施策の実施。	○計画 ・保護者アンケートの継続的な実施。 ・PDCAサイクルを意識した各主要施策の実施。 ●実績 ・保護者アンケートの実施。	○計画 ・保護者アンケートの継続的な実施。 ・PDCAサイクルを意識した各主要施策の実施。	
評価・改善内容	・引き続き、適切な教育(保育)環境の整備に努め、高い評価水準を維持していく。	・新型コロナウイルス感染症対策を講じた園運営、行事の実施に努めた。 ・引き続き、適切な教育(保育)環境の整備に努め、高い評価水準を維持していく。		
大綱の総合評価 (主要施策の達成状況)	主要施策の達成割合 5/10	概ね順調に推移している。(ただし、大綱の実績値が一部不明)		

主要施策	28 安全で安心して学べる教育環境の確保①	担当部署	学校教育課	
主要施策の 成果指標	学校支援ボランティアによる校内の見守り活動の実施割合			
	基準値 ー(2015年度)		目標値 100%(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 100%)	(期待値 100%)	(目標値 100%)	ー
実績値	100%	100%	ー	
達成状況	達成	達成	ー	
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援ボランティアや施設維持補修事業などの委託事項に児童生徒の見守り活動を依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 <ul style="list-style-type: none"> 昨年度と同様の見守り活動を計画している。また、本年度より全小中学校で地域学校協働活動推進事業が開始されるため、地域住民との連携に取り組んでいく。 ●実績 <ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動や交通安全指導で保護者や地域の住民と連携をとりながら全校で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動推進事業開始により、地域の課題に沿った活動を展開する。 	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 取組実績のとおり、不審者等からの見守りについて安全安心な学校生活に努めることができた。今後は、登下校時の見守り拡大に向けた地域住民への協力を促す。 			

主要施策	28 安全で安心して学べる教育環境の確保②	担当部署	学校教育課	
主要施策の 成果指標	学校における怪我件数の割合の削減			
	基準値 7.7%(2015年度)		目標値 6.9%(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 7.2%)	(期待値 7.1%)	(目標値 6.9%)	ー
実績値	6.5%	5.6%	ー	
達成状況	達成	未達成	ー	
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 廊下での歩行の仕方等、校舎内外での安全な過ごし方について話し合い活動を行ったり、日頃から庁舎内外の安全点検を実施したりすることで、けがを未然に防ぐよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 <ul style="list-style-type: none"> 体育的活動前の準備運動の大切さや施設及び用具等の安全な使用、また相手に配慮した友達同士の関わり方等を学ぶことを通して、自他の安全な行いについてさらなる意識の高揚を図る。 ●実績 <ul style="list-style-type: none"> 授業や部活動前の準備運動の必要性を指導し、各校で取り組めた。また、活動中でのルールの徹底に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて活動の内容を精査する。保健や学級での指導で継続した指導を行う。児童会、委員会活動で児童生徒より校内で安全を働きかける。 	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒自らが、けがを未然に防ぐことの大切さを自覚し、校舎内外において安全に行動しようとする意識の向上がみられた。 			

主要施策	29 社会全体で子どもを育てていく環境づくり①		担当部署	学校教育課
主要施策の 成果指標	地域教材(副読本)の担当学年への配布割合			
	基準値 - (2015年度)		目標値 100%(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 100%)	(期待値 100%)	(目標値 100%)	—
実績値	100%	100%		—
達成状況	達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	・地域教材「わたしたちの伊豆の国市」を令和2年度改訂に向け、本年度改訂した。	○計画 ・3年サイクルで改訂しているため、最新の状況を把握し次回改訂に向けた準備を行う。 ●実績 ・地域の歴史、文化に親しみきっかけとして副教材を活用。 教材を社会科や総合学習の授業で扱った。	○計画 ・R5年度の改訂発行に向けて計画的に進める。北条義時関連の資料を追加する。	
評価・ 改善内容	・郷土の歴史や文化、自然を題材とした総合学習を実践し、児童生徒の意欲向上を図った。			

主要施策	29 社会全体で子どもを育てていく環境づくり②		担当部署	生涯学習課
主要施策の 成果指標	図書館利用者数の増加			
	基準値 50,235人 (2015年度)		目標値 55,000人(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 53,400人)	(期待値 54,200人)	(目標値 55,000人)	—
実績値	49,832人	42,283人		—
達成状況	未達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	・中央図書館:28,018人 ・葦山図書館:21,814人	○計画 ・ウィズコロナを見据えた図書館運営事業の実施。 ●実績 ・4月・5月は、コロナ禍で休館となり事業実施ができなかったが、6月から通常業務を再開した。 内訳は、中央図書館23,653人、葦山図書館18,630人。	○計画 ・社会情勢に応じて、図書館促進事業、読み聞かせ事業、ブックスタート事業、宅配サービス事業を実施する。	
評価・ 改善内容	・コロナ禍で閲覧その他の利用制限が行われており、利用者数の増加を図ることが困難な状況にある。	・ウィズコロナをふまえ、引き続き業務を推進して行く。		

主要施策	29 社会全体で子どもを育てていく環境づくり③		担当部署	生涯学習課
主要施策の 成果指標	茅野っこ広場(屋外活動センター)の休日利用率の向上			
	基準値 31%(2015年度)		目標値 50%(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 44%)	(期待値 47%)	(目標値 50%)	—
実績値	20.6%	58.40%		—
達成状況	未達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	・土・日・祝日の閉館日数の年間閉館日数に対する割合 49/237件	○計画 ・通路の舗装や炊事場屋根の拡張など利便性を高め、施設の魅力・集客力を高めるための改修を計画的に実施する。 ●実績 ・土・日・祝日の閉館日数の年間閉館日数に対する割合 59/101件(件数=団体数)	○計画 ・通路の舗装や炊事場屋根の拡張など利便性を高め、施設の魅力・集客力を高めるための改修を計画的に実施する。	コロナ禍で全体的な利用も落ち込んでおり、利用率回復対策を講じる必要がある。
評価・ 改善内容	・貸出施設の2・3階部分を文化財収蔵庫に改装するために貸し出しを停止する等、利用率向上に不利に働く事情があった。	コロナウイルス対策により貸出できない期間があったこと、青少年団体の活動が抑制されたことなどにより、利用率が減少した。		

主要施策	29 社会全体で子どもを育てていく環境づくり④		担当部署	幼児教育課
主要施策の 成果指標	世代間交流への参加園の割合の維持			
	基準値 100%(2015年度)		目標値 100%(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 100%)	(期待値 100%)	(目標値 100%)	—
実績値	100%	100%		—
達成状況	達成	達成		—
取組実績 (取組計画)	・おじいちゃん先生を幼稚園・保育園の全園に配置。	○計画 ・地域での世代間交流の場の設定。 ●実績 ・おじいちゃん先生を幼稚園・保育園の全園に配置。	・地域との世代間交流の推進。 ・おじいちゃん先生を幼稚園・保育園の全園に配置。	
評価・ 改善内容	・おじいちゃん先生の配置時間(シルバー人材センターへの委託)を昨年度より増やし、園児との交流を促進した。	・当初予定をしていた地域での世代間交流が新型コロナウイルス感染症対策のため縮小した。		

主要施策	30 グローバル教育・情報教育の推進		担当部署	学校教育課
主要施策の 成果指標	市内中学校3年生に占める英語検定3級以上合格者の割合の向上			
	基準値 20.4%(2015年度)		目標値 40%(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 33.5%)	(期待値 36.7%)	(目標値 40%)	—
実績値	18.30%	2%		—
達成状況	未達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 本年度から学習指導要領が改訂され、小学校3年生から外国語指導が開始となった。外国人講師を5名配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 <ul style="list-style-type: none"> 前年度と同様の外国人講師を配置する。 令和2年度は電子黒板を全校整備したため、デジタル教材による外国語指導を実施していく。 ●実績 <ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領実施にあたり授業内容の充実に向けた研修を行った。 ALTとの連携を取りながら言語活動の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 <ul style="list-style-type: none"> タブレットを活用しながら、コミュニケーションの育成を図る。 デジタル教材の活用について市内学校で研修を実施する。 	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒のコミュニケーション能力や異文化に対する興味、意欲の向上に寄与できた。 			

主要施策	31 生涯学習の推進①		担当部署	生涯学習課
主要施策の 成果指標	生涯学習きっかけ作り塾卒業後、受講者から講師となった人数(累計)			
	基準値 18人(2015年度)		目標値 25人(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 22人)	(期待値 23人)	(目標値 23人)	—
実績値	22人	22人		—
達成状況	達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習きっかけ作り塾卒業後の同好会移行、新人講師の採用など、「学ぶ」から「教える」へ市民の成長を促す取り組みを継続している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 <ul style="list-style-type: none"> 全講座の開講を見合わせのため、計画の見直しを予定。 ●実績 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、28講座全てを開講中止とした。(令和2年5月8日決裁) 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 <ul style="list-style-type: none"> 目標値の変更:2020年度が実績0のため、2021年度目標値を25人から23人に変更。 	<ul style="list-style-type: none"> 2020年度について、新型コロナウイルス感染症対策のため、年度内の全成立講座の開講を見合わせた。
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 基準年から着実に成果を伸ばしていると評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全講座の開講を見合わせのため、2021年度以降の目標値その他の計画を見直す。 		

主要施策	31 生涯学習の推進②		担当部署	生涯学習課
主要施策の 成果指標	生涯学習きっかけ作り塾から自主活動への移行割合の向上			
	基準値 60%(2015年度)		目標値 70%(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 66%)	(期待値 68%)	(目標値 70%)	—
実績値	不明	0		—
達成状況		未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のため、3月の合同開講式を中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 全講座の開講を見合わせのため、計画の見直しを予定。 ●実績 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、28講座(受講生延べ266名)全てを開講中止とした。(令和2年5月8日決裁) 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 令和3年度に成立した23講座(延べ248人)について、修了後の自主活動移行を促す。 目標値の変更:2020年度が実績0のため、2021年度目標値を70%から68%に変更。 	施設再配置計画で受け皿が不足していく中、自主活動団体を単純増加させる成果指標は不適切とも考えられる。
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 開講後の自主活動移行状況を追跡調査していない(コロナによる臨時休館後も施設利用の自粛が続いており、利用数が極端に減少している)。 	<ul style="list-style-type: none"> 全講座の開講を見合わせのため、2021年度以降の目標値その他の計画を見直す。 		

主要施策	32 スポーツ活動の推進		担当部署	スポーツ振興課
主要施策の 成果指標	成人の週1回以上のスポーツ実施率			
	基準値 —(2015年度)		目標値 55%(2021年度)	
	2019年度	2020年度	2021年度	(特記事項ほか)
	(期待値 45%)	(期待値 50%)	(目標値 55%)	—
実績値	44%	38%		—
達成状況	未達成	未達成		—
取組実績 (取組計画)	<ul style="list-style-type: none"> モンゴル国柔道ナショナルチームの事前合宿の実施。 ニュースポーツ教室の実施。 スポーツイベントの開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 東京オリパラ事前合宿を通じたモンゴル国との交流。 運動機会の維持・充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画 ニュースポーツ教室の実施。 スポーツイベントの開催。 	
評価・ 改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 年々増加傾向にあるが期待値は達成できなかった。 更なる運動機会の維持と充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍によりスポーツの実施が減少した。 更なる運動機会の維持と充実に努める。 		

まちづくりの基本方針4 歴史に学び、未来を拓く伊豆の国市(歴史・文化・教育・研究)

施策の大綱 4-1 歴史・文化・芸術を生かしたひとづくり・まちづくりの推進

将来の姿／

歴史に学ぶまちづくりや都市交流の推進により、文化・芸術活動が身近にある豊かな暮らしが実現しています。

■ 指標(成果指標)

文化振興事業における座席数に対しての平均

[主要施策]

26. 歴史に学ぶまちづくりや都市交流の推進

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
市民を対象とした歴史に関するシンポジウムを毎年開催中学校における伊豆の国市を題材とした地域学習(※1)の実施率の向上歴史に学ぶ、真摯な心を持った人材育成と都市交流により、地域資源を生かしたまちづくりを推進します。	・文化財の保護・活用	・文化財パンフレットの作成(平成30年度:三番叟解説パンフレット) ・文化財シンポジウムの開催(令和元年度)	
	・葦山郷土史料館の機能移転	・建物の耐震性が低いため、「伊豆の国市郷土資料館」として中央図書館へ移転(平成30年度)	
	・葦山城跡に関する調査の推進	・国指定史跡指定の実現に向け、葦山城跡整備部会により協議を重ねた。	
	・守山中世史跡群の整備の推進	・守山中世史跡群整備部会の指導等の下に各種計画を策定した。	
	・歴史的風致維持向上計画の策定をきっかけとした地域のブランド化の推進	・「伊豆の国市歴史的風致維持向上計画」を策定し、国の認定を受ける。(平成30年7月) ・本計画の17項目の重点事業の推進及び管理を実施	
	・世界遺産となった葦山反射炉の次代への継承	市内の中学1年生を対象に葦山反射炉検定を実施した。実施率100%となった。(令和元年度)	
	・小・中学校の社会科見学の推進(景観区域、国指定文化財、地域教材の活用)	・葦山反射炉ガイダンスセンターにて、小学校による企画展を実施。(令和元年度) ・葦山反射炉ガイダンスセンターにて、鋳物づくり体験を実施。(令和元年度)	
	・小・中学校における郷土学習によるふるさと意識の醸成(伝統文化芸能等の観賞体験、地域教材の活用)	・小・中学校では、史跡巡り(葦山反射炉や江川邸、願成就院等)を実施した。 ・地域教材本「わたしたちの伊豆の国市」教材本を活用し、小学校総合の時間に学習し、ふるさと意識の醸成に努めた。(令和2年度未改訂)	
	・高齢者学級における伝統文化芸能等の取組	各地区における高齢者学級事業において発表会等を実施。	
	・定期的な郷土資料の企画展示	・郷土資料館における常設展示及び企画展示を実施(平成29～令和2年度)	
・歴史や文化、芸術等、多様な分野の都市交流をグローバル(モンゴル他)な視点とローカル(長岡京市や八王子市他)な視点で推進	・モンゴル国ソングノハイルハン区議長をはじめ児童の訪問を受けた。(令和元年度:13人) ・モンゴル国へ中学生海外研修生を派遣した(平成30年度:21人、令和元年度:18人) ・モンゴル国へ公式訪問団を派遣した(平成30年度:8人、令和元年度:8人) ・モンゴル国へ市民訪問団を派遣した(令和元年度:9人)		
その他	・長岡京市への訪問及び長岡京市からの訪問を受けた(平成30年度実績:86人) ・長岡京市へ訪問を行った(令和元年度実績:26人) ・長岡京市からの訪問を受けた(令和元年度実績:33人) ・歴まち認定都市の連携を図るため、中部地方整備局管内において「歴史まちづくりカードラリー」を開催した。		

[主要施策]

27. 文化・芸術活動の推進

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
地域の伝統や文化、芸能や芸術活動を推進し、文化・芸術が身近に感じる暮らしを実現します。他自治体等との共催により、質の高い文化・芸術鑑賞の機会を増やします。	・ 伝統行事の保護と後継者の育成	・ 伝統芸能育成として「伊豆の国市能友の会」の活動に対し、補助金を交付した。	
	・ 市民ニーズに対応し集客性も考慮した、文化・芸術の鑑賞機会の提供	・ 文化芸術に親しんでもらうため、文化振興自主事業を実施した。(平成29年度:6事業、平成30年度:5事業、令和元年度:6事業、令和2年度:2事業)	
	・ 文化・芸術の普及活動の展開	・ レクチャーコンサート「アクシスのタバ」を開催した。(平成29年度9回、平成30年度9回、令和元年度9回、令和2年度5回) ・ 他自治体等との共催による文化・芸術鑑賞機会の増加のため、伊豆市グリーンコンサート2017(508席)2018(930席)2019(974席完売)、0歳から入れる親子クラシックコンサート(入場券配布席数:509席)、NHK公開録音(804席)、宝くじまちの音楽会(948席)を実施した。	
	・ 伊豆の国市文化協会を中心とした市民の文化・芸術活動の支援・育成	・ 文化活動を支援するため、文化協会へ活動に対し補助金を交付した。(平成29年度:77団体954名平成30年度:79団体961名令和元年度:71団体885名令和2年度:65団体795名)	
	・ 芸術祭の開催の検討	・ 市民文化祭実行委員会への支援。	

施策の大綱 4-2 次代を拓(ひら)く教育と研究の推進

将来の姿／

郷土や日本の良さを理解し、世界に向けた広い視野を持つ人材が育っています。

■ 指標(成果指標)

学校を楽しいと思える子どもの割合

保護者目線から見た、楽しく通っている園児の割合

[主要施策]

28. 安全で安心して学べる教育環境の確保

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
子どもの学ぶ場となる学校では、生涯学習の基礎となる学力・感性・健やかな心身を身に着ける教育を推進するとともに、安全で安心して学べる教育環境づくりに取り組みます。	・ 学校における怪我の縮減	・ 学校における怪我件数の割合の削減に向けて、廊下の歩行の仕方等、校舎内外での安全な過ごし方について話し合い活動を行ったり、日頃から庁舎内外の安全点検を実施したりすることで、けがを未然に防ぐよう努めた。	
	・ 平等な学習機会の提供	・ 心の教室相談として、各中学校に教諭又は養護教諭免許を持つ相談員を配置したことで、多くの利用者が悩み相談に訪れた。(3中学校計:2,324人) ・ 田方地区教職員に同一水準の研修機会を確保し、資質向上を図った。(平成29年度受講者数:38人、平成30年度受講者数:44人) ・ 保護者目線から見た「楽しく通っている園児」の割合を把握するため、保護者アンケートを実施した。その結果96%の保護者が楽しく通っていると回答した。(令和2年度)	
	・ 安全な給食の提供	・ 保育園では、「大量調理施設衛生マニュアル」に則り、給食調理室の衛生管理を徹底をしている。食物アレルギーのある園児に対しては「アレルギー対応マニュアル」に基づいて給食提供を実施している。 ・ 学校における食物アレルギー事故防止の徹底を図るため、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」の改正を行った。(令和2年度)	
	・ 学習生活支援員等の市単独支援員充実と見守りの推進	・ 学校支援ボランティアや施設維持補修などの委託事項に見守り活動を依頼した。実施割合は100%となった。	

(続き)	・年齢に応じた防災教育の充実	・災害用補助食等の備蓄や、園・学校ごとに避難訓練を実施した。(平成29年度～)	
	・安全安心連絡網事業の継続、拡充	・児童生徒の安全安心を図るため、保護者に対し緊急情報の提供を行うためのメール配信システム連絡網を構築した。(登録者数:3,064人) ・公立保育園・幼稚園は共通の保護者専用アプリを導入し、園からの情報をいつでもどこでも確認できるようにした。(園児数:659人)(令和2年度)	
	その他	・特別支援学級支援員配置人数を1名増の8人体制とし、個別対応の必要性が高いクラスに増員した。 ・部活動を担当する教員を支援するとともに、部活動の質的な向上を図るため、部活動指導員を配置した。(菰山中:1名、大仁中:4名) ・地域学校協働本部を市内5小学校で発足した(令和2年度実績)。残り1校については令和3年度に発足予定。	

[主要施策]

29. 社会全体で子どもを育てていく環境づくり

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
子どもの学びを、学校に留めず、家庭、地域社会という枠を超えた広い空間軸で捉え、社会全体でお互いに支え合い、子どもを育てていく環境づくりを推進します。	・地域教材(副読本)の配布	・地域教材「わたしたちの伊豆の国市」を令和2年度改訂。担当学年への配布割合100%を達成。	
	・あいキッズ、家庭教育講座、ふるさと学級等の講座の実施継続	・小・中学生を中心とした子ども教室「あいキッズ」を開催した。(令和元年度実績211人14講座開催、平成30年度実績354人21講座開催) ・青少年活動推進委員会による体験講座「ふるさと学級」の実施。	
	・おじいちゃん先生の継続	公立保育園・幼稚園に各1名配置。	
	・学校を通じた世代間の交流(ゲストティーチャーを招いた授業、農業体験等)	生徒の資質向上、人材育成に資するため、市内中学校で志龍塾実施事業を実施した。	
	・伊豆の国版コミュニティスクールの研究と実践	・コミュニティスクールの前身となる「地域共同本部」の設置を各地区へ推進している。 ・令和2年度内に市内5小学校において地域協働本部を発足し、残り1校についても令和3年度に発足する。今後は推進員を中心に各協働本部での活動を活発化する。	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題対応委員会を開催した。(平成29年度:1回、平成30年度:14回) ・不登校児童・生徒の居場所を確保するため、「わかあゆ(適応指導)教室」の運営日数を延ばした。(平成29年度:196日、平成30年度:205日) ・教育現場の実情を把握してもらうため、学校及び所管施設の訪問を実施した。(平成30年度実績:8回) ・教育行政の施策や事業内容について「PDCAサイクル」を実施し、教育委員会運営事業に対する委員会を開催した。(平成30年度実績:3回) ・大仁市民会館に代わる市民の生涯学習拠点として市民交流センター(大仁くぬぎ会館)を設置。 		
計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
読書を幼い時から習慣づけるとともに、学びの機会の充実等を推進します。	・ブックスタート事業や絵本の読み聞かせの継続実施	健康づくり課と連携し、定期健診を利用しブックスタート事業を展開している。	
	・図書館の一般図書や幼児用図書の充実	・図書館の利用者数は49,832人/年(中央図書館:28,018人、菰山図書館:21,814人)	

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
青少年育成活動、防災教育、健康・福祉学習等を通じて、次代を担うひとづくりを推進します。世代間交流、国際交流等を実施し、様々な交流を通じて子どもの世界観を広げていきます。	・「夢の教室」授業の実施継続	・市内小学校6校で小学5年生を対象に実施。	
	・茅野っこ広場(野外活動センター)等で行う青少年育成活動の推進(活動団体への助成、指導者養成)	・茅野っこ広場(屋外活動センター)の休日利用率の向上への取組を行った。	
	・次代を担うひとづくりをめざした世代間交流、国際交流等の実施	・市民と外国人との交流を図る国際交流協会の活動に対し補助金を交付した。	
	その他	・いじめ問題対応委員会を開催した。(平成29年度:1回、平成30年度:14回)	
		・不登校児童・生徒の居場所を確保するため、「わかあゆ(適応指導)教室」の運営日数を延ばした。(平成29年度:196日、平成30年度:205日)	
		・教育現場の実情を把握してもらうため、学校及び所管施設の訪問を実施した。(平成30年度実績:8回)	
		・教育行政の施策や事業内容について「PDCAサイクル」を実施し、教育委員会運営事業に対する委員会を開催した。(平成30年度実績:3回)	
		・大仁市民会館に代わる市民の生涯学習拠点として市民交流センター(大仁くぬぎ会館)を設置。	

[主要施策]

30. グローバル教育・情報教育の推進

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
子どもが日頃から外国語指導助手(ALT(※1))等の外国人にふれあうことのできる環境づくりを推進するとともに、韮山反射炉を訪れる外国人旅行者への英語ガイド等の観光地としての特色を生かした実践教育や、英語合宿の実施等、語学力を高める環境づくりを推進します。	・小・中学校へのALT配置による、身近なグローバル教育の推進	・5名(小学校2人体制、中学校3人体制)を配置。	
	・韮山反射炉での英語ガイド等の体験学習の実施		○
	・イングリッシュ・サマー・プログラムの実施		○
	・国際交流協会の協力による外国人との交流	・市民の国際化や文化的な生活の醸成を促し、外国人との交流を図る団体に補助を行った。(伊豆の国市国際交流協会:計84名)	
	・外国人先生(国際交流員等)と園児の交流の実施		○
	その他	・「広報いずのくに」や「FMいずのくに」を通じ、モンゴルの文化を各月1回紹介した。 ・月一回モンゴル語講座を開催し、また要望のあった団体等へ出前講座を開催した。	
		・市内中学校3年生に占める英語検定3級以上合格者の割合の向上を図った(合格割合は18.3%)。令和元年度から学習指導要領が改訂され、小学校3年生から外国語指導が開始となり、外国人講師を5名配置した。	
		・モンゴル柔道アカデミー及び柔道ナショナルチーム来訪時の通訳を務めた。	
計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
情報教育や情報モラルの教育を推進します。	・授業におけるICT(※2)の積極的な活用の推進	・パソコン教室のタブレット機器を活用し、協働的な学びを深めた。 ・電子黒板を利用し、デジタル教材やインターネット動画を活用した授業を実施し、児童生徒の学習意欲向上に寄与できた。	
	・携帯電話やスマートフォン等の正しい使い方を含めた情報モラル教育の推進	・携帯電話を扱う事業者や警察官と連携し、児童生徒向け情報モラル教育を実施した。また、授業参観を利用し、保護者を含めた講話を実施した。	

[主要施策]

31. 生涯学習の推進

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
地域や民間団体の自主活動、公民館講座を中心とした学習活動の環境づくりを通じて、市民一人ひとりが地域との絆を深め、地域社会の発展に貢献する生涯学習社会の実現を図ります。	・生涯学習きっかけ作り塾の充実	・「生涯学習きっかけ作り塾」の講座を31回実施した。(平成29年度実績:28回)	
	・生涯学習活動の充実(公民館講座、きっかけ作り塾等)	・世代を問わず大人から子どもまで、誰もが本に親しむための読書環境の改善(読書空間の保持、施設周辺環境の整備)を行った。 ・生涯学習きっかけ作り塾卒業後の同好会移行、新人講師の採用など、「学ぶ」から「教える」へ市民の成長を促す取り組みを継続している。生涯学習きっかけ作り塾卒業後、受講者から講師となった人数は、令和元年度の累計で22人となった。 ・親子スポーツ体験講座「スポラブ」を開催した(令和2年度8回開催)	
	・自主サークル活動の場の提供	社会教育施設の充実	
	・生涯学習サポーター制度の充実	サポーターの紹介	
その他		・生涯学習を実施する場を提供するため、静岡県市町村振興協会助成金を活用して長岡中央公民館(あやめ会館)の修繕、工事を行った。 ・大仁市民会館に代わり、市民の生涯学習の拠点として市民交流センター(大仁くぬぎ会館)を設置。	

[主要施策]

32. スポーツ活動の推進

計画		前期基本計画の実績	
施策内容	主な取組	実績	未実施
生涯にわたる運動習慣が身に付くよう気軽にできるニュースポーツ教室等を開催し、多くの市民にスポーツ、文化、仲間と交流する楽しさを知る機会を提供します。	・スポーツ推進計画の策定と計画に基づく事業の推進		○
	・身近にスポーツに親しむことができ、子どもから高齢者まで、様々なスポーツを愛する人々が、初心者から上級者までそれぞれの志向やレベルに合わせて参加できる運動機会の維持・充実	・市民スポーツの振興及び推進にあたり、各種スポーツの指導と助言及び教室やイベントによるスポーツ実施の機会を提供した。(スポーツ推進委員会の開催、ニュースポーツ教室の開催、チャレンジ・ザ・スポーツテストの開催、みんなのランニング&ノルディックウォーキングの開催、みんなのラジオ体操の開催) ・公認トレーニング指導士の資格を取得し、市民スポーツ活動の推進を図るため、トレーニング講習会を計12回実施した。(平成30年度実績) ・ハイキングを通じて市民のスポーツ交流の場を広く提供し、健康増進を図るため、「市民ハイキング」を計2回実施した。(平成30年度実績) ・令和元年度に市内スポーツ選手の発掘・育成・強化及び体力向上を目的として「市駅伝」を実施した。(参加者:78チーム)	
	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿を通じたモンゴルとの交流	・令和元年度にモンゴル国柔道ナショナルチームの事前合宿を実施した。	
その他		・スポーツ賞賜金として46件の交付があった。(平成30年度実績:賞賜金計370,000円)	

